39

Web Technologies

ウェブデザイン

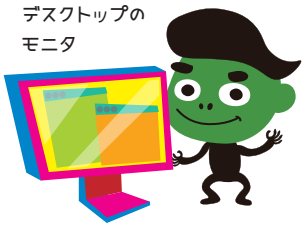
誰でも、どんな環境でも、利用しやすいウェブサイトを

2021年大会
全景

ウェブデザイン職種で求められるのは、情報を効率的に発信・配信するために、文字や画像など様々なコンテンツを使ってウェブサイト(ホームページ)を制作する技能です。世界中と繋がるウェブサイトは、誰もが見やすく、分かりやすく、使いやすく、安全であるべきもの。競技でも、設計・構築の適切さや、その表現力を競います。近年では、ユーザの必要とする情報を提供するための様々なサービスやエンターテイメント、教育等、扱うコンテンツの幅も広がってきています。次々と増え続ける新しい情報に対応し、適切な形でウェブサイトに取り入れていく、情報収集力、さらには技術力とセンスそれらを実践した技能が必要となります。

競技について　競技時間：2日／10時間

ウェブデザインの競技課題は、技能五輪国際大会や、国際規格、標準規格などに基づいて設定されています。課題内容は、①スピードテスト（その他ウェブデザインに関わる諸技能）②フロントエンド（ウェブアプリケーション）③バックエンド（アプリ、サーバサイドおよびバックエンド開発）④CMS（コンテンツ マネジメント システム）の4つのモジュールに分け、総合的なウェブサイトの設計・構築に関わる技能を評価します。競技は2日間で10時間程度と長くなりますが、課題ごとに作業時間が指定されているため、作業スピードや正確さが求められます。



競技職種と生活との関わり

インターネットが急速に普及している現代、ウェブデザインの仕事はこれからも需要が高まる職種のひとつです。今後ウェブ業界では、単にウェブサイトのパーツを作るだけの作業者ではなく、幅広いスキルを持っている人材や戦略立案ができる人材が重要視されます。ウェブ制作会社や広告代理店などが主な就職先になりますが、最近は業界・職種を問わず、多数の会社がウェブを活用した事業の展開やデジタル化(デジタルトランスフォーメーション、DX)を展開しているので、ますますウェブデザイナーの活躍の場が広がっています。

国際基準に則ってユーザーを意識したコミュニケーション作り

ウェブサイトは、ただ美しくデザインすればいいものではありません。国際的な標準規格など、定められたルールに沿って制作することが重要です。また、ウェブサイトは多くの人々が様々な環境下で使うため、どこでも同じように使えることが大切になります。さらに、双方向的な情報の場合には、発信者と受け取り手の両者にしっかり配慮したコミュニケーションを設計、デザインする必要があり、それらは競技の中でも大切なポイントになります。

平田 克二主査
特定非営利活動法人
インターネットスキル認定普及協会

前回大会金メダリストからメッセージ！

練習とかつらいことたくさんあると思いますが、本番の結果を信じて努力し続けてください！

長倉 由喜さん
総合学園
ヒューマンアカデミー横浜校